



2009年5月30～31日 全日本フォーミュラニッポン 第3戦 参加台数13台
サーキット ツインリンクもてぎ

第3戦がツインリンクもてぎで行われました。ドライコンディションでの走行となり、マシンやドライビングの確認をしました。しかし、うまく走ることができず11番手となってしまいました。その後チームとミーティングを行いドライビングについて話、予選に臨んでいきました。

予選

天候・・・曇

今回も予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・/7位

20分間で行われました。開始と同時にコースイン。始めにマシンのバランスを確認するために周回しピットに戻りました。そして、NEWタイヤに交換しアタックに入っていました。ドライビングを練習のとき悪かった点、特にブレーキングに注意して走りました。マシンのフィーリングも練習からよくなり、ドライビングも少しずつ直っていき7番手タイムでQ1をクリアしました。

Q2・・・/7位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。マシンセットは少しだけ調整しました。1度冷静に考えドライビングを考えアタックに入っていました。このときもマシンの動きがよくなりQ1から0.5秒タイムアップすることに成功しQ3に進出を決めました。

Q3・・・/3位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。最後ということもあり、マシンセッティングをさらに変更し最後のアタックに臨みました。しかし、1回目のアタックではマシンの動きが変わってしまい、その動きに対応することができずQ2のタイムを更新できませんでした。しかし、2回目のアタックでマシンの動きにドライビングを合わせることで、セクタータイムもまとめ3番手のタイムを出すことに成功しました。

決勝・・・/4位

天候・・・曇→雨→曇→雨

午前中に行われた30分間の走行では、始めレインタイヤを装着してコースインしましたが、すぐに路面コンディションが回復しました。ピットに戻りピット作業のシミュレーションを行い、ドライタイヤで再びコースインしました。そして、レースでのマシンバランスのチェックをして走行が終わりました。

スタートでは直前に雨が降り始めました。しかし、レインタイヤに交換するほどではなく前車スリックタイヤのままレースが始まりました。シグナルが消えホイールスピンないようにコントロールしながら加速していきました。そして、2番手の選手がイン側へ行ったのでアウト側へ行きました。そして、2コーナーの立ち上がりでアウト側から抜くことができました。所々雨の影響で滑りやすいながらもトップを追いかける状況でした。自分のペースがよく3周目の5コーナーで追いつきS字コーナー出口でトップを走るマシンの加速が鈍ったときにV字コーナーのアウト側から並びかけトップに浮上しました。そこから、少しでも差を開こうとプッシュして走りました。

そして、9周目には雨脚が強くなりチームの指示でピットに入り給油、レインタイヤに交換してコースに戻って行きました。しかし、そのアウトラップの90度コーナーでコースアウトしてしまいました。その後も、レインタイヤのドライビングがうまくいかず2位に差を詰められてしまいました。さらに、17周目の3コーナーでブレーキングミスからコースアウト、3位にポジションを下げられました。その後、ペースを上げることができず4番手に交代してしまいました。しかし、チーム

からの無線で路面状況のことを話し合いチームの作戦でもう1度スリックタイヤに変えるためピットに戻りました。この作戦が成功し2番手に順位を戻すことができました。トップの選手を追っている中30周目にアクシデントが発生しセーフティカーが入りました。この間タイヤを冷やさないよう左右にマシンを振りながらレース再開を待ちました。そして、33周目にリスタート。トップの選手を再び追っていきました。差がなかなか縮まらないなか再び雨が降り始めてきました。他の選手がピットに戻りレインタイヤに変える中、チームと無線で話そのまま最後まで行く作戦に出ました。

路面は少しずつ濡れてきましたが、マシンを信じて集中しタイムを落とさないよう走りました。しかし、残り5周くらいから雨脚が強くなってしまいペースを上げることができず残り4周で2番手に後退。翌周に3番手になりファイナルラップに入っていました。なんとかポジションをキープしなかったのですが、90度コーナーで抑えることができず4番手になってしまいました。そして、4番手でゴールしました。

今回のようなコンディションで本当にいい走りをすることができました。これも、チームの的確な判断のおかげです。本当にありがとうございました。そして、今回は自分自身でも今持てる力を出すことができました。結果は悔しいですが価値のあるレースでした。レース中のコースアウトやレインタイヤのドライビングと課題をクリアして早く優勝できるようにがんばります。

次回のレース・・・6月27, 28日 富士スピードウェイ

塚越広大